

## 施策の柱 6 生きがいづくりと社会参加の促進

### 1 生きがい活動の推進

#### (1) 老人福祉センター

老人福祉センターは、60歳以上の高齢者が囲碁・将棋やカラオケ等の娯楽を楽しみ、各種の教室に参加して教養を高める等、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進を図るための施設です。市内には「馬渡荘」、「大島荘」、「高場荘」、「みなと荘」、「金上荘」、「津田老人いこいの家」の6か所の施設がありましたが、年々利用者が減少傾向にあったことから、令和2年度より施設の在り方について検討をはじめました。

検討の結果、令和3年度に入浴施設を廃止、令和5年度からは、「金上荘」及び「津田老人いこいの家」を更なる高齢者の地域交流の場として在り方を変更し、「馬渡荘」については、老朽化が激しく安全性の確保が難しいことから閉館しました。

#### 【今後の方針】

「大島荘」「高場荘」「みなと荘」については、引き続き、囲碁・将棋・カラオケなどの地域交流の場とするほか、新たに健康体操や生きがいとなる講座等を積極的に取り入れ、利用促進を図ります。

「金上荘」は老人福祉センターとしての機能を終了し、高齢者に限らず、全ての世代が利用できる貸館施設として利用促進を図ります。

「津田老人いこいの家」は、近隣にあるワイワイふれあい館を移設し、更なる地域交流を図ります。

「馬渡荘」については、今後解体を行うまでの間、適正な空家管理をしていきます。

▶老人福祉センター利用状況（単位：人）

区分		第8期 実績値		
		R3年度	R4年度	R5年度
馬渡荘	市内	1,142	1,502	—
	市外	1	8	—
	合計	1,143	1,510	—
	1日平均	5	6	—
大島荘	市内	4,348	6,632	3,409
	市外	91	171	71
	合計	4,439	6,803	3,480
	1日平均	21	28	28
高場荘	市内	1,199	1,719	1,587
	市外	24	29	18
	合計	1,413	1,748	1,605
	1日平均	6	8	13
みなと荘	市内	802	1,754	1,102
	市外	2	0	0
	合計	804	1,754	1,102
	1日平均	3	7	9
金上荘	市内	480	1,452	—
	市外	2	3	—
	合計	482	1,455	—
	1日平均	2	6	—
津田老人いこいの家	市内	855	1,529	—
	市外	1	5	—
	合計	856	1,534	—
	1日平均	4	7	—
市内		9,016	14,588	6,098
市外		121	216	89
合計		9,137	14,804	6,187
1日平均(6施設合計)		44	62	50

※ 令和5年度は9月末現在

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度はR3.8.6からR3.9.12まで臨時休館

※ 令和4年度をもって、馬渡荘、金上荘、津田老人いこいの家は閉館

## (2) 高齢者クラブ

60歳以上の希望者が高齢者クラブを組織し、スポーツ、ボランティア活動、研修・文化活動等を通して、仲間との親睦や地域社会との交流を図るとともに、社会福祉活動、環境美化等を行っています。各クラブ単位での活動のほか、高齢者クラブ連合会でも活動しており、これらの活動に対し、補助金を交付し支援しています。

区分	第8期 実績値		
	R3年度	R4年度	R5年度
単位クラブ数(人)	65	64	61
会員数(人)	3,294	3,078	2,747
加入率(%)	6.8	6.3	5.6
60歳以上人口(人)	48,890	49,330	49,610

※ 加入率は60歳以上人口比率

### 【今後の方針】

高齢者クラブの活動に対し、継続して支援します。

## (3) 高齢者ふれあいサロン

高齢者の閉じこもり予防、生きがいの場の提供等を目的に、高齢者と地域住民が気軽に集い、高齢者相互及び多世代間の交流を深める活動を行うまたは行おうとする団体に対し、開設に要する経費や新規に取り組む事業に要する経費、その他活動経費に補助金を交付し支援しています。実施主体は市社会福祉協議会です。

### ▶令和5年9月末現在の高齢者サロンの状況

区分	勝田第一中学校区域	勝田第二中学校区域	勝田第三中学校区域	佐野中学校区域
高齢者サロン数	5	4	2	8
区分	大島中学校区域	田彦中学区域	那珂湊中学校区域	美乃浜学園区域
高齢者サロン数	5	0	9	3

### ▶補助金交付状況

区分	第8期 実績値			
	R3年度	R4年度	R5年度	
交付団体数	立上げ補助(新規開設)	2	1	1
	強化補助(新たな取組)	1	0	1
	活動補助	47	46	47

※ 令和5年度は9月末現在

#### 【今後の方針】

高齢者と地域住民が気軽に集い、高齢者同士や多世代間の交流を深める活動等を行うまたは行おうとする団体に対し、サロンの設立・運営について支援するとともに、活動の担い手となる人材を発掘・育成するための講座を開催する等、支援を充実します。

### (4) 市毛ハーモニーセンター

市毛ハーモニーセンターは、県営もみじが丘アパートの住民及びその近隣住民に交流や活動の場を提供し、高齢者の生きがいをづくりを目的に各種講座を開催しています。

区分	第8期 実績値		
	R3年度	R4年度	R5年度
講座数（講座）	11	15	13
講座実施回数（回）	109	193	75
受講者数（人）	1,825	2,554	1,118

※ 令和5年度は9月末現在

#### 【今後の方針】

委託事業者と連携を図り、施設の適切な管理、運営を引き続き行っていくとともに、介護予防や認知症予防等、近隣住民の福祉の向上につながる講座を開催する等、活動の充実を図ります。

### (5) ワイワイふれあい館

地域住民の健康づくりや生きがいをづくり、高齢者や児童等との世代間のふれあい交流活動を提供する場として地域住民が運営するワイワイふれあい館を支援しています。

区分	第8期 実績値		
	R3年度	R4年度	R5年度
利用人数（人）	2,680	3,430	1,274

※ 令和5年度は9月末現在

#### 【今後の方針】

従来使用していた建物の老朽化を受け、令和5年度より旧津田老人いこいの家へ活動拠点を移転しました。今後も、高齢者が健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう、地域における生きがいをづくりや社会参加を促進するため、継続して支援します。

## 2 敬老事業

### (1) 敬老会

長年地域のために貢献されてきた高齢者に対して敬意を表するとともに、広く市民が高齢者福祉についての関心及び理解を深めるために、敬老会を開催している自治会等に、敬老会費用の一部を助成しています。

区分	第8期 実績値		
	R3年度	R4年度	R5年度
対象人数(人)	20,017	20,793	20,955
金額(千円)	31,207	32,956	38,226

※ 令和5年度は未精算のため暫定の数値

### (2) 敬老祝金

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝いあわせて福祉の増進を図るため、敬老祝金を支給しています。

区分		第8期 実績値		
		R3年度	R4年度	R5年度
対象人数 (人)	77歳	1,628	1,352	1,737
	88歳	751	821	894
	100歳	41	51	47
	合計	2,420	2,224	2,678
金額(千円)		33,350	32,490	37,600

※ 令和5年度は未精算のため暫定の数値

#### 【課題】

敬老会については、高齢者の増加により主催団体の負担や市の財政の負担が増大しています。そのため、敬老事業に関する検討委員会において、協議を実施し、令和3年度より補助金の算出方法を「一律支給」から「根拠のある計算式」に見直しました。

その後も、主催団体との意見交換等を行い、敬老会の在り方について検討を進めています。

#### 【今後の方針】

敬老会を行う自治会等への支援や祝金の支給については、引き続き、主催団体や市民の意見を伺いながら、調査・検証を行い、補助対象年齢の引き上げや敬老祝金・記念品の見直し等、検討していきます。

### 3 社会参加の促進

#### (1) 高齢者の就労支援

高齢者の就労支援については、「生きがいのための就労」という視点に立って公益社団法人ひたちなか市シルバー人材センター（以下「市シルバー人材センター」という。）に対して運営費等の一部を補助し活動を支援しています。

シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて設置されている団体で、定年退職者等の高齢者に臨時的かつ短期的またはその他の軽易な就業を提供するとともに、ボランティア活動を始めとする様々な社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上及び活性化に貢献することを目的としています。

#### 〔市シルバー人材センター〕

市シルバー人材センターでは、請負事業として一般家庭の植木剪定や除草作業、襖・障子張り、墓地清掃管理、きもの着付け訪問サービス等を受託しているほか、派遣事業としては民間企業や公共団体等から施設管理や清掃等について受託するなど、多様な事業を実施しています。また、独自事業では「シルバーふれあいショップ」として、会員が作った野菜や手芸品等を展示販売しております。

このほか、高齢社会に対応するため、ひとり暮らし高齢者や高齢世帯を対象に、食事作りや清掃、外出時の援助や話し相手、除草やゴミ出し等を行う「お助け隊」や市からの委託を受け、要支援 1・2 の方または介護予防・生活支援サービス事業対象者に清掃や買い物代行を行う「家事援助訪問型サービス事業」を実施しています。

一方で、阿字ヶ浦海岸の清掃等のボランティア活動も毎年実施する等、市民サービスの向上と社会貢献を目的とした事業を実施しています。

今後は、減少傾向にある会員数の拡充や会員と役職員が一丸となって就業機会の拡大に努める等「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の雇用・就業対策を推進する中核として役割を果たしていきます。

#### ▶請負委任事業

区分	第8期 実績値		
	R3年度	R4年度	R5年度
会員数（人）	900	855	825
就業件数（件）	3,865	3,742	2,216
契約金額（千円）	320,397	265,238	131,127
就業実人員（人）	618	558	478
就業率（%）	68.7	65.3	57.9

※ 令和5年度は9月末現在

▶派遣事業

区分	第8期 実績値		
	R3年度	R4年度	R5年度
就業件数（件）	45	80	77
契約金額（千円）	53,545	90,671	47,443
就業実人員（人）	93	163	154

※ 令和5年度は9月末現在

【今後の方針】

引き続き、市シルバー人材センターの支援に努めます。

## （2）高齢者のボランティア活動支援

市内には多くのボランティア団体が独自の活動を行っているほか、地域ごとにある自治会や子供会、高齢者クラブ等が地域福祉活動に取り組んでいます。

市社会福祉協議会では総合福祉センター内にボランティア活動センターを設置し、ボランティア養成講座やボランティア通信の発行等、ボランティア活動が活発に行われるよう支援しています。

【今後の方針】

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に当たっては、ボランティア活動との連携を図る等、地域の方の協力が必要となっていきます。そのため、要支援・要介護状態に至っていない60歳代、70歳代の高齢者が、支援を必要とする地域の高齢者を支える担い手となれるよう、人材育成講座の情報や、ボランティア団体等の活動情報等、活動に必要な情報の提供等に努めます。

## （3）いばらきシニアカード交付事業（いばらき高齢者優待制度）

いばらき高齢者優待制度は、高齢者の積極的な外出を促し、自身の健康増進やひきこもり防止につなげるとともに、地域や企業、行政が一体となって高齢者を支えあう社会の実現を目的として、茨城県が平成26年12月から始めたものです。

65歳以上の方が協賛店舗等において高齢者優待カード（「いばらきシニアカード」）を提示することにより、各協賛店舗等が任意に設定した特典を受けることができる制度です。「いばらきシニアカード」は、市高齢福祉課や老人福祉センター等で配布しております。また、65歳到達に伴う介護保険証発送時に同封してお配りしています。

【今後の方針】

引き続き、いばらき高齢者優待制度の周知を行い、できるだけ多くの方に「いばらきシニアカード」を配付できるように努めます。